

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式				
E1121017		合奏 (和楽器を含む。) (Ensemble I )										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
必修	1	3	教育学部			氏名 清水 万敬 E-mail kshimizu@oita-pjc.ac.jp 内線						
授業の概要	リコーダーをはじめ、簡易な打楽器を含めての合奏、和楽器の基本的な奏法を習得する。 コードや移調楽器、ギターを学修する。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)											
目標1	リコーダーの基本的な奏法を習得できる。											
目標2	リコーダーでの合奏技術を習得できる。											
目標3	簡易な打楽器の基本的な奏法を習得できる。											
目標4	簡易な打楽器での合奏技術を習得できる。											
目標5	リコーダー、打楽器、ピアノでの合奏技術を習得できる											
目標6	和楽器(箏)の基本的な奏法を習得できる。											
目標7	ギターの知識を得ることができる。											
目標8	管楽器の発音について知識を得ることができる。											
目標9	管楽器について移調楽器の知識を得ることができる。											
目標10	移調ができる。											
授業の内容												
1	ガイダンス											
2	アルトリコーダーをもちいた合奏(1)											
3	アルトリコーダーをもちいた合奏(2)											
4	アルトリコーダーをもちいた合奏(3)											
5	アルトリコーダーをもちいた合奏(4)											
6	和楽器の基本的奏法について(1)											
7	和楽器の基本的奏法について(2)											
8	ソプラノリコーダーをもちいた合奏(1)											
9	ソプラノリコーダーをもちいた合奏(2)											
10	ソプラノリコーダーをもちいた合奏(3)											
11	ソプラノリコーダーをもちいた合奏(4)											
12	簡単な打楽器、ギターの知識											
13	ピアノを含めての合奏(1)											
14	ピアノを含めての合奏(2)											
15	まとめ											
ラーニング	A:知識の定着・確認	予習を行い、積極的にアンサンブルに参加する。				工夫	その他の					
	B:意見の表現・交換											
	C:応用志向											
	D:知識の活用・創造											
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	事前に楽譜を読み、運指などを解決し、楽器で練習をしておく事。										
	事後学修	授業で順調に推移しなかった箇所を練習する事。また、理解出来なかったことを整理する。										
教科書	適宜、楽譜/プリントを配布する。											
参考書	中学校教科書(合奏編) メソッド・ソルフェージュ(音楽之友社発行) JBCバンドスタディ(ヤマハ株式会社管楽器学校営業部発行)											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	小テスト	15%										
	発表	45%										
	試験	40%										
注意事項	楽器や譜面台の準備・片付け											
備考	なし											
リンク												
	URL											

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	オーケストラに在籍していた。現在も他大学で吹奏楽演習や器楽アンサンブルを担当している。
教員以外で 指導に関わ る実務経験 者の有無	
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	田中愛子（和楽器）
実務経験を いかした教 育内容	オーケストラや吹奏楽での実務経験をもとに各楽器について話をします。